

第2回 めだかとおこめのたのしいおはなし 沿岸部の生態系の再生を考える

～仙台メダカ米プロジェクトからみえてきたもの～

コンテンツ

- 仙台メダカ米プロジェクトについて
- 新浜での自然栽培・ビオトープの取り組みについて
- 周辺の自然環境について
- メダカのおはなし（魚類学）
- 今後の取り組みについて

東日本大震災による津波で、
仙台市沿岸部に生息していた在来種のメダカの姿が見られなくなってしまいました。
東日本大震災の前年、研究の目的でこの地域のメダカを採集していた宮城教育大学は、八木山動物園・有志市民の里親と協力してメダカを増やし、元の場所へ復活させようと保全事業に取り組んでいます。仙台メダカ米プロジェクトでは、在来種のメダカを農薬を使わない田んぼに放流し、多様な生物と共生する人にも自然環境にもやさしいこめづくりを推進しています。
今回は、活動を通して見えてきた生態系の再生とこれからの取り組みをおはなしいただきます。

講師紹介

遠藤源一郎氏（遠藤環境農園）

八木山動物園元園長。宮城野区岡田の新浜で農薬や化学肥料を使わずに、メダカと一緒に稲を栽培している。

棟方有宗氏（宮城教育大学）

2000年東京大学農学部を卒業（農学博士）。専門は魚類学。

広瀬川に生息するサクラマスなどのサケ科魚類や、仙台平野の野生メダカの保全の研究に取り組む。



復活した
ミズアオイ



こみち市での
販売



日時

平成31年 3月23日（土）
13:30～15:00（開場/13:15）

場所

仙台市若林図書館 2階視聴覚室

対象

一般

定員

30名（先着順）

受付

3月9日（土）午前10時より受付開始

- ・若林図書館カウンターまたはお電話にて受付いたします。
- ・定員に達し次第、お申込みを終了とさせていただきます。
- ・お預かりした個人情報、利用目的以外には使用いたしません。

問合せ

仙台市若林図書館

〒984-0827 仙台市若林区南小泉 1-1-1

☎022-282-1175

参加
無料

